

OBからの特別寄稿

「総科音頭」・「総科節」について

「周囲の人たちの反応は、いかがでしたか？」

練習の際、つまらない唄

な踊りをさせやがってという、同期生からの冷たい視線を感じましたね（笑）。学祭では、唄や踊りがど

ま

「大学時代の思い出

舟橋喜恵先生のゼミでジョン・ロックを学んだことか 　かたか

ければ

不肖の弟子でした（笑）。最近になって、はじめて思想の何たるかが解ったような気がします。

「ところで……あなたにとって総合科学と

誤

地域、さまざまな組織、家族、個人の安全保障だと考えています

で、あらゆるレベルのシステムが、存続どころか単に存在することすら困難な時代にあります。そこをどうするのかについて処方箋を出せる学問体系であってほしい。

「最後に……総科音頭、総科節が、今後、どのようになることを望みますか？」

詠み人知らずの唄として、デカンショ節のように、ゆるゆると継がれていってくればいいと思います。まあ、継がれなくてもいいけど（笑）。
いくらか欲しいな（笑）。

「総科音頭」「総科節」の作詞・作曲・振付者、角南憲一様よりご寄稿いただきました。

元祖・愛唱歌「総科」 「総科音」

角南憲一君（52社会）が作った「総科節」

「総科音頭」のデビューは1977（昭和52年）11月3～5日の大学祭だった。1年生だった52総科生127人の半数以上が、パレードに繰り出し、この2曲を歌い踊りながら東千田のキャンパスから本通りまでを往復したのだ。学祭パレードの化

が鳴り物入りの大部隊で乗り込んだのは、とても目立った。

♪あ、そりゃ、にっぽんいちだよ、
そうごうかがくぶう…

ぼくらは、練習を重ねた踊りでパレードしながら、総合科学部を紹介する手づくりチラシも市民に配った。この時、総科は974年春から3年半。52生の入学でやっとに燃えるぼくらは、その存在を市民にアピールしたかったのだ。

52生は、学祭ではパレードのほか8ヶ映画

製作・上映、喫茶も企画し、「3本柱」と称

イモねーちゃん」のタイトルで、これも角南君が

学長選挙をパロディで描いた。喫茶は学生研究室に開店し、手づくりケーキだった。

かくして大学祭の3日間は大盛り上がり

頭の合唱が何度も響いたの言うまでもない。

もともと52生は、入学直後に自己紹介の手書き文を集めた学年名簿を作ったり、ミニコミ誌「いんてぐれいと」を月1回ペースで発行したりして、学部内コミュニケーションは上がりを機に「総科節」「総科音頭」は連帯のシンボル愛唱歌になったのである。

翌年、53生が「安芸の国」を作り、その後

同窓会の会合では計3曲が歌い継がれることになるが、年々「安芸の国」が勢いを増し

「総科音頭」「総科節」は影が薄くなってしまった。ただ、52生にとっては、メロディ、振り付けともオリジナルの「総科節」「総科音頭」こそ元祖・学部愛唱歌である。30年以上前の東千田キャンパスの光景をまぶねながら、心の中で密かにリバイバルを期するのである。

このたびは「飛翔」編集部が歌に注目してくれたことに感謝したい。

（2010年1月11日記）

- ① 市中パレードから東千田キャンパスに帰着し、グラウンドでなお輪になって「総科節」「総科音頭」を歌い踊る52生（1977年11月）



- ② 52生の市中パレード。本通りからキャンパスへ向かう鷹野橋あたり。



- ③ 総科校舎裏庭で「総科節」「総科音頭」の振り付けを
（中央



「総科音頭」「総科節」の振り付け、歌詞、楽譜
（中国新聞浜田支局長）よりご寄稿いただきました。

資料1：歌詞

総科音頭

1. 斬ったはったの刃情沙汰は

ここじやちつともありやせんが

ふったふられた艶話

好きなら好きで ふられりやおわり

総科恋道 花咲く小径

2. 落った通った

三年、四年は血走るが

やっと入った

飲めや遊べの下級の学生

受験に合格 そりや時の運

総科鬼道は 受験の小径

総科節

1. 話の種に総科においでんさい

酒は飲め飲めやりまくれ

波は碎ける宇品の港

黄金山もほろ酔い気分じゃそうわいな

日本一だよ 総合科学部

さあさ唄いな さあさ踊りな

チョイト ヌ

2. ふさぎの虫なら総科で

娘18花のよう

浮名流れる太田の川に

比治山もうかれてのつて騒ぎ出す

日本一だよ 総科のおなご

さあさ口説きな さあさ睦みな

チョイト まあ 総科節

カンパ集まるコンパある

みんなかたろうキープ券ある奴

日本一だよ 総科の気っ風

さあさ気にす さあさ

チョイト まあ 総科節

4. 粹になりたきや総科に似んさい

おとこぎあふれる伊達男

潮の風吹く東千田町

総科の校舎もいなせな姿じゃないか

日本一だよ 総科のおとこ

さあさ聴きなよ さあさ聴きなよ

チョイト まあ 総科節



52

52年度 大学祭市中パレード参加作品
作詞・作曲・振付 角南憲一

市中パレード推進部

総科音頭

さつたはつたの にんじょうがたは こころをいかに ありやせんば
 はつたはつたの つやばつてし うわさばつてお とうのうらや
 首をたす 首をたす ぶさくわおわり とうか こいみち
 はつたはつた さいち

総科節

はつたはつたの たいに とうかにおこしおい さけはあめめ や
 なまはつたはつたの おうごん ざん せ
 はつたはつたの さいち (アツク) にいづれいちはつた とうごうのうらや
 さあさうたいはつた さあさおどりば ちあひさあ とうのうらや

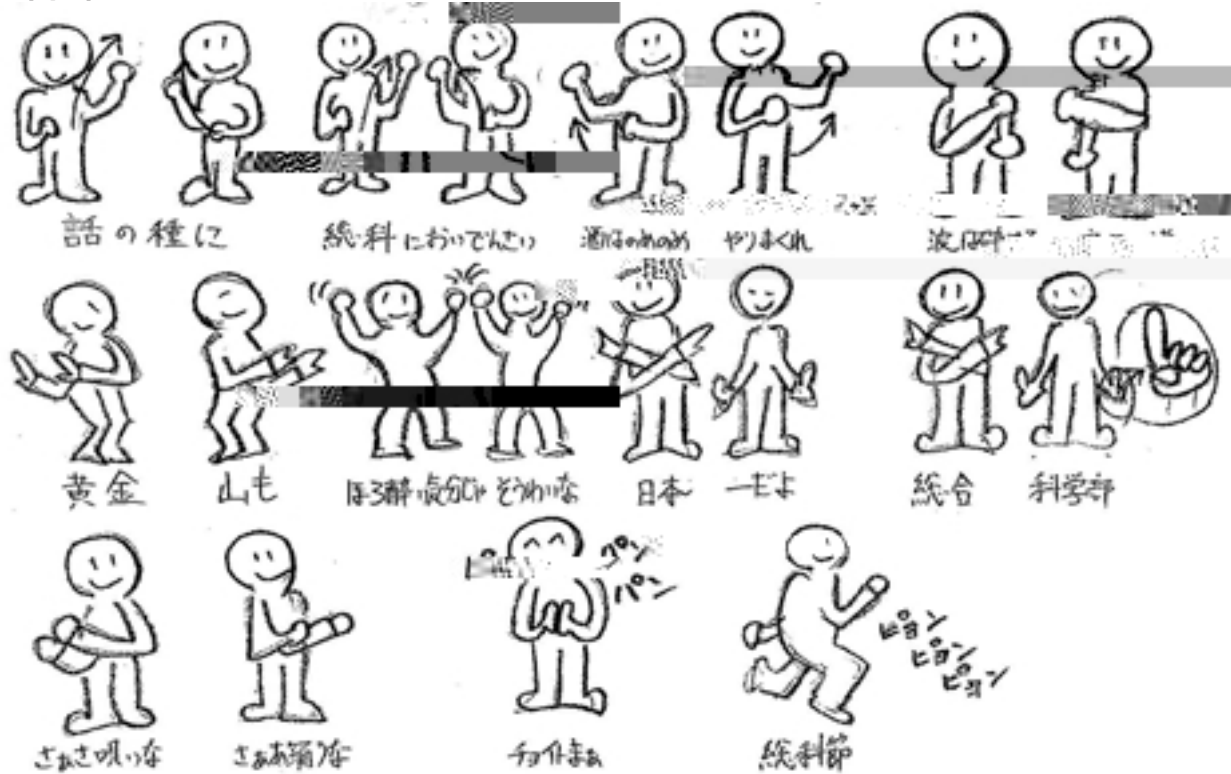
この楽譜は、田中伸武様（中国新聞浜田支局長）が、飛翔のために改めて書いてくださったものです。

資料3：振付

総科音頭



総科節



この振付図は、広島大学文書館に納められた資料に掲載されていたものを、編集委員が書き写したものです。